

|                        |
|------------------------|
| 記 者 提 供 資 料            |
| 2022 年（令和 4 年）12 月 5 日 |
| 総務局財務室財務担当 松永          |
| Tel 918-5011（内線 2530）  |

## 市有施設包括管理業務委託 第 6 回インフラメンテナンス大賞特別賞受賞

この度、本市の市有施設包括管理業務委託の取り組みについて、国土交通省をはじめとする各省庁合同主催の第 6 回インフラメンテナンス大賞に応募したところ、文部科学省部門の特別賞を受賞しましたのでお知らせいたします。

### 1 インフラメンテナンス大賞について

#### (1) インフラメンテナンス大賞の趣旨

インフラが直面する老朽化や担い手不足の問題に対応して、メンテナンスの工夫や効果的・効率的な実施を実現した研究・技術開発等の優れた成果を顕彰することで、我が国のインフラの機能の維持を目指すものです。

#### (2) 表彰の対象

以下の 3 つの部門において、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた効果・実績を挙げた取組や技術開発を行った者を表彰します（各省の大臣賞、特別賞、優秀賞を選定）。

ア メンテナンス実施現場における工夫部門

イ メンテナンスを支える活動部門

ウ 技術開発部門

#### (3) 公表・記者発表

国土交通省事務局報道発表：12 月 5 日（月） 14：00 予定

### 2 応募内容と取組効果

#### (1) 応募内容

取組名：市有施設包括管理業務委託

応募部門：ア メンテナンス実施現場における工夫部門

概要：従来、施設ごと、業務ごとに委託していた保守点検や清掃、修繕等を一括して委託することにより、市有施設の安全性の向上と維持管理業務の効率化、施設の長寿命化を図る取り組みである。全ての日常修繕を含む施設包括管理業務委託として、全国初の取り組みであり、人件費を中心にコスト削減するとともに、的確な判断でスピーディーかつ安価で柔軟な修繕対応が行えている。

#### (2) 市有施設包括管理業務委託の効果

##### ①コスト削減効果

施設所管課職員 7 名減(他課への異動)等により人件費を中心に 4,800 万円/年の削減

##### ②庁内を横断した効果的な修繕の実施

施設包括管理担当、学校管理課、学校の先生の 3 者が連携して、柔軟な発想で安価に一定の効果が出る手法で問題解消した。



谷八木小学校運動場の排水不良改善の例

### ③施設への満足度調査の結果

- ・各施設へのアンケート結果 包括前と比べて「良くなった」「少し良くなった」の評価  
1年目：約7割 ⇒ 2年目：約8割 ⇒ 3年目：約9割 ⇒ 4年目：約9割
- ・高評価の主な理由  
対応の迅速化（連絡の翌日までには現場確認、受託者常駐担当者自身による修繕等）  
従来未対応の修繕にも対応（学校体育館・保育室等の床研磨・張替、学校運動場等の排水改善、漏水箇所の特定・修繕、門・扉・窓の開閉不良の改善 等）

### ④他自治体等からの視察等

- ・全国初の全ての日常修繕を含む包括管理として注目され、視察、講演、寄稿の依頼、問合せ合計100件以上
- ・本市の事例を参考に神戸市、芦屋市、高砂市、大阪市、豊中市等、約10自治体が導入

## 3 今後の取り組みについて

第1期施設包括管理業務委託（2018年度～2022年度の5年間）が終了することに伴い、対象業務を拡大して第2期（2023年度～2027年度の5年間）を継続して実施します。

### (1) 対象施設、対象業務の追加（主なもの）

- ・本庁舎、あかし保健所を対象施設として追加
- ・修繕業務の範囲を概ね130万円未満から500万円未満まで拡大
- ・公共施設マネジメントに資する提案事業の推奨

### (2) 受託予定者

公募型プロポーザルによる選定を行い、日本管財株式会社が受託予定です。